

あわらし脱炭素ロードマップ 概要版

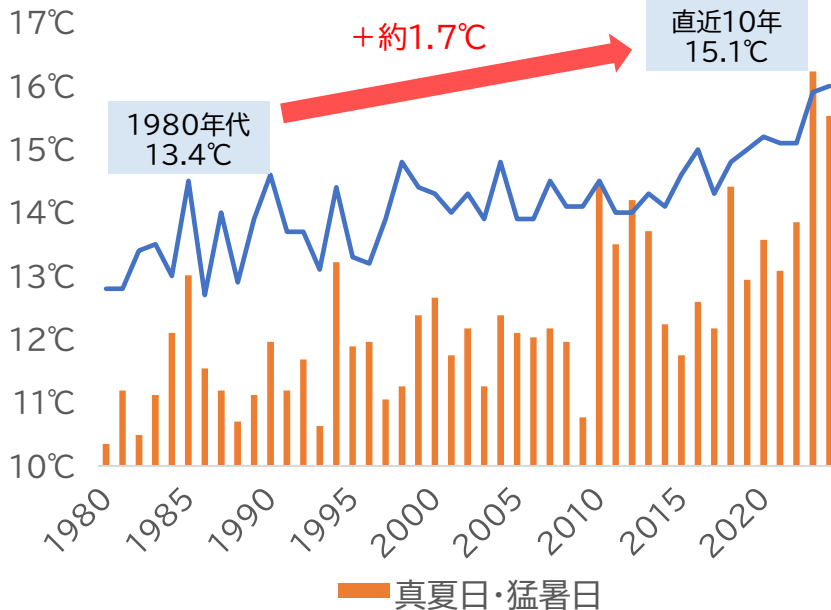
(地方公共団体実行計画(区域施策編))

- ▶ 地球温暖化による気候変動は、自然災害の増加、農業への影響、熱中症の増加等、あわらしで生活する人々の生活に大きな影響を及ぼしています。
- ▶ このような現状に対応するため、あわらしでは「ゼロカーボンシティあわらし」を宣言し、2050(R32)年までの二酸化炭素排出量を実質ゼロ(カーボンニュートラル)を目指すこととしています。
- ▶ 2050年カーボンニュートラル実現に向けた取組を通じて、市民・事業者・行政が協働して地球温暖化対策に関する施策を推進していくことを目的として、本ロードマップを策定します。



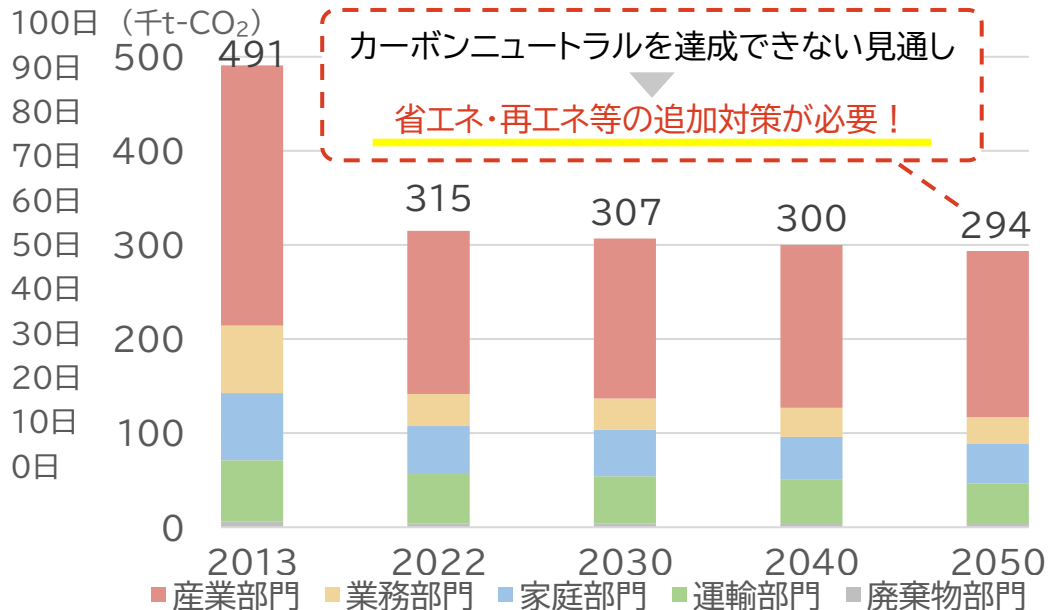
本市の平均気温、猛暑日・真夏日の日数

40年前(1980年代)と比べ、既に約1.7℃の温暖化が進行し、真夏日・猛暑日は大幅に増加しています。



新たな対策を講じない場合(BAU)の排出量

推計の結果、新たな対策を講じない場合、2050(R32)年度のカーボンニュートラル目標には届かない見通しとなっています。



本市の目指す将来像

脱炭素のみならず本市の課題解決や地域活性化に貢献するビジョンとして、目指す地域脱炭素の将来像を以下のように設定します。

脱炭素 × 産業

環境と共生する産業づくり

- 省エネ・再エネの更なる導入による、**脱炭素を実現したものづくり企業集積の実現**
- 環境意識が高い市内企業と**官民連携による横展開**
- 有機栽培・中干し延長による**Jクレジット創出等、環境保全型農業の推進**

脱炭素 × 観光

持続可能な観光の振興・活力人口増加

- 「**脱炭素温泉街**」としてのブランディングによる観光客の更なる誘客
- 観光客の移動の電動化(脱炭素化)、**利便性向上**
- 北湯湖での自然体験やエコツーリズム教育の推進による**活力人口増加**

めざせ!
自立・分散型のゼロカーボンシティあわらし

脱炭素 × 快適・防災

安心して快適な暮らしの普及

- 住宅の断熱性能向上による**快適な住環境の実現・電気代の大幅な削減・ヒートショック防止**
- 地震・台風等に備えた、避難所・住宅への**再エネ・蓄エネの普及によるレジリエンス強化**
- EVの**動く蓄電池**としての活用(非常時)

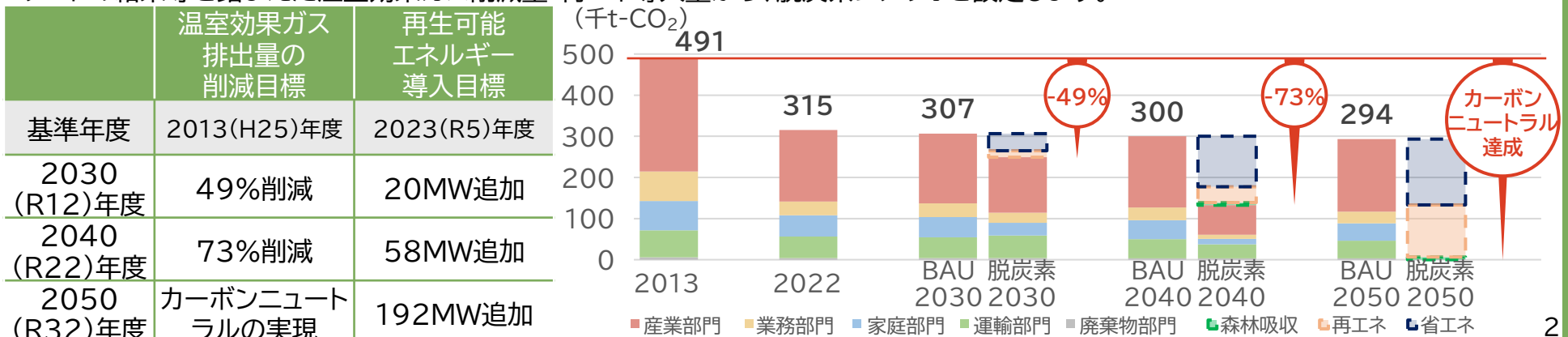
脱炭素 × 交通

快適・便利・健康な交通

- 公共交通機関の利用促進やEV・ハイブリット車による環境に**優しい移動手段の強化**
- 二次交通の更なる脱炭素化による**快適・便利と脱炭素の同時実現**
- 自転車利用促進による**健康増進**

目標・脱炭素シナリオ

本市が目指す「ゼロカーボンシティ あわらし」実現のため、短期・中期・長期で以下の目標を設定します。また、目標達成のため、アンケートの結果等を踏まえた温室効果ガス削減量・再エネ導入量から、脱炭素シナリオを設定します。



具体的取組

目標達成のためには、行政だけでなく、市民一人ひとりの行動や事業活動、それぞれでの取り組みが必要不可欠です。そこで、本市の地域特性等を踏まえ、各主体が以下の取組を推進します(★は重点施策を表します)。

①省エネルギー対策の徹底

- (市民)
 - ▶住宅の省エネ化の推進★
 - ▶省エネ性能の高い機器の普及★
 - ▶日常生活における脱炭素行動の普及促進
 - ▶あわら市エコ市民会議との連携
- (事業者)
 - ▶脱炭素企業交流会★
 - ▶CO₂排出量見える化の促進★
 - ▶省エネ性能の高い機器の普及
 - ▶建築物の省エネ化・ZEB化の推進



あわら市エコ市民会議



あわら市脱炭素企業交流会

②再生可能エネルギーの推進

- ▶市民・事業者への再生可能エネルギー設備の導入促進
- ▶再生可能エネルギー由来の電気の活用促進
- ▶再生可能エネルギーの共同調達
- ▶先進的な技術の検討
- ▶公共施設への再生可能エネルギーの導入検討★



太陽光発電設備(福井鋳螺株式会社)



太陽光発電設備導入の効果

③環境に配慮したまちづくり

- (運輸)
 - ▶ゼロカーボン・ドライブの推進
 - ▶自転車を活用したまちづくりによる自動車利用の転換促進
 - ▶二次交通の更なる充実、公共交通の利用促進
 - ▶公用車の電動化
- (農林業)
 - ▶環境保全型農業の推進
 - ▶豊かな森林資源を活かした吸収源確保



EVカーシェア 試乗の様子

④資源の循環利用

- ▶3R+2Rの推進
- ▶地産地消の推進
- ▶食用油回収の情報発信
- ▶リサイクルバンクの発信
- ▶宿泊施設からの食品ロス削減
- ▶スーパー・コンビニ等と連携した取組
- ▶共同調達促進による廃棄物発生抑制とコスト削減★
- ▶mottECO(モッテコ)利用促進

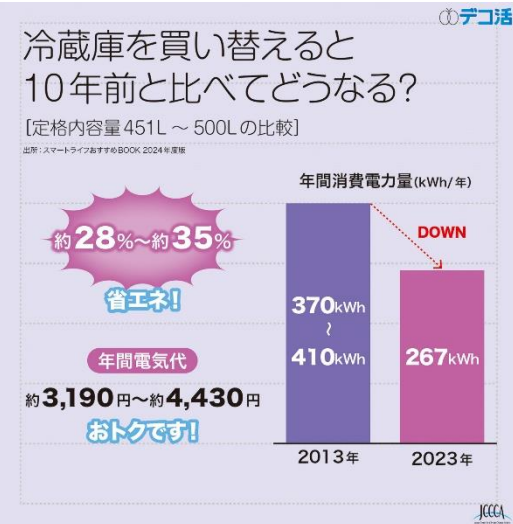
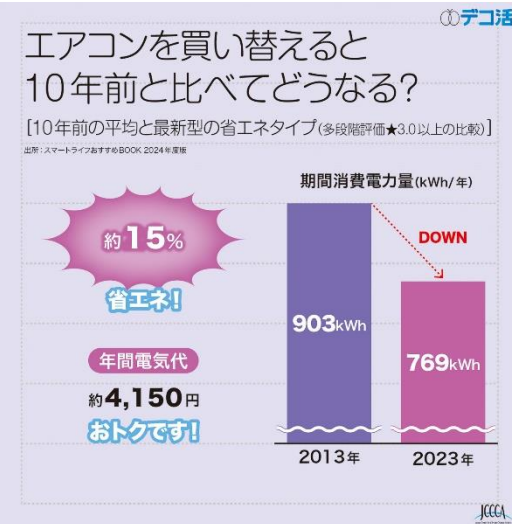
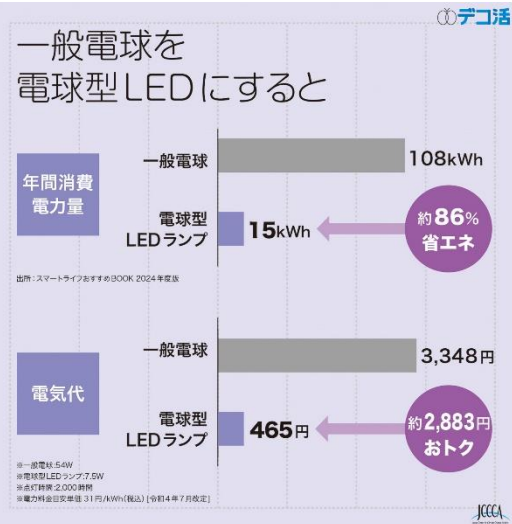


あわら市食品ロスポスター

身近な脱炭素アクション

脱炭素アクションは手軽&お得な取り組みも多く、例えば照明のLED化は「約86%の省エネ(CO₂削減)効果」だけでなく「約2,883円/年の節約効果」になるなど、脱炭素と節約、同時に実現することが可能です。

2050(R32)年のゼロカーボンシティの実現に向け、1つ1つの具体的なアクションを積み重ねていきましょう。



詳しくはこちらから



「脱炭素につながる新しい豊かな暮らしの10年後」の関連資料(環境省)



全国地球温暖化防止活動推進センター

KPI

	KPI	現状	2030年度
1	市の「ゼロカーボンシティあわら」宣言の認知度	15%	30%
2	太陽光発電の導入率(世帯当たり)	5.8%	7.0%
3	事業者向けイベント	(これまでに1回)	累計6回以上
4	CO ₂ 排出量の把握(見える化)をしている事業者の割合	13%	18%
5	市民の脱炭素の進捗度の認識	15%	25%
6	市民のごみ減量・リサイクルの認識	52%	60%

進捗管理

PDCAサイクルにより、省エネ対策や再エネの導入促進に関する具体的な取組の実施状況について点検します。



連絡先

あわら市市民生活部生活環境課
 〒919-0692 福井県あわら市市姫三丁目1番1号
 電話:0776-73-1221(代表)
 FAX:0776-73-1350
<https://www.city.awara.lg.jp/>

